

SuBACo だより

2025
8月号

まちなか交流施設
すないる
SuBACo

西1条北2丁目1-20
0125-74-4885
8時30分～17時
休館日 土日祝

企画・編集
砂川市役所
商工労働観光課
地域おこし協力隊
篠原由衣・中野有菜

まちの風景をつくるひとたち 砂川納涼花火大会・盆踊り・夏まつり

夏の大イベントが無事に終わりました。今年も盆踊り、花火大会、ラブリバー夏まつりが同日開催になり、盛りだくさんの一日でした。(花火が終わったとたんの大雨には驚きましたね。笑)

花火との距離感が近く、会場内で見ると首が痛くなるほど！レジャーシートを広げてのびのびと過ごせる環境や、空の広さを存分に感じられるオアシスパークでのお祭りは、砂川らしさがあって唯一無二だなと感じます。

こども盆踊りも大盛況！500人以上のこども達が集まっており、恒例のお菓子まき・餅まきも大賑わいでした。仮装盆踊りも参加数が15組超え！市役所メンバーは大阪万博のキャラクター、ミヤクミヤクに。セーラーチームも登場し、華やかな北海盆踊りでした。来年の夏もまた楽しみです。



赤いはっぴがよく似合う
商工労働観光課のメンバー

まちなか交流施設 すないる 多目的室の図書コーナー

いわたさんによる季節の選書

すないる内の多目的室には、砂川にまつわる本や、空知にまつわる本、砂川のお店の方が選ぶ本が並んでいます。その中には、いわた書店主いわたさんが季節ごとに選書するコーナーがあり、この夏は6冊。

熊についての本も3冊並んでいます。熊注意報が出ている砂川。熊の暮らしや生態について、学びを深めるよいタイミングかもしれません。

読書をする場所としても気軽にご利用ください。

いわた書店

夏の選書6冊

- ・ヒグマは見ている
- ・となりの野生ヒグマ
- ・OSO18を追え
- ・死なないノウハウ
- ・手から手へ
- ・白鳥
- ・北国の風景をつくった使者たち



SuBACo だより 1周年

早いもので、このSuBACoだよりが始まって1年が経ちました。いつも読んでくださる方に感謝申し上げます。今後でもできる範囲で続けていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします！

● 今月のひと皿

ポレポレの特製カレー

20年以上つくり続けられている、ポレポレの人気メニュー。ごぼうやたまねぎなど、6種類以上の野菜と果物をじっくり煮込んだ特製カレーです。さらっとしたルーに具材の甘みが溶け込んで、深みのある味わい。辛さは自分で調節できるように、ガラムマサラが別で用意されています。辛いのが好きな方には嬉しいですね。お子さまでも食べやすい一皿です。

お食事された方は珈琲や紅茶が150〜200円と嬉しい価格でいただけます。自家焙煎された珈琲ポレポレブレンドを丁寧にハンドドリップで淹れてくれますよ。



自家製スイーツや焼き菓子も。パティシエ監修のソフトクリームや素材の味をいかしたシェイクも人気です。

- ソフトクリーム (バニラ・抹茶)
- シェイク (バニラ・バニラオレンジ)

いちご・さつまいも・かぼちゃ) ケーキは5種類〜。砂川のはちみつを使用したケーキなども。パンの販売もあります。

社会福法人くるみ会が運営するカフェ。
通所者が地域の方がかわりを持てる場を提供したいという思いから2006年オープン。

カフェ・ポレポレ

〒073-0135 東5条南4丁目2の9
0125-74-4330
10時半〜16時 土・日・祝日定休

編集後記

夏のイベントラッシュが過ぎ、食欲の秋がはじまります。新米もたのしみなこの頃です(中野) 暑い日が続くと思っていたら一気に気温が下がって風邪をひかないか心配。気張っていきます(篠原)

SuBACo だよりのバックナンバーは

市役所・商工労働観光課・すないるにて配布中！

砂川の商店街をご紹介します

すながわのおmise

BAR BASE CAMP

vol.16

地元を想うマスターの こだわりを詰め込んだバー



マスターの奥山訓史さん。軽快なトークで緊張させずに楽しませてくれます。

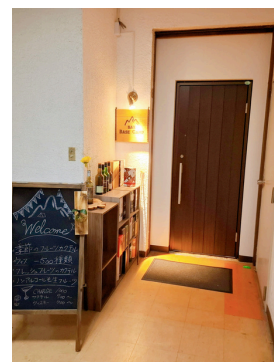
砂川市内のバーの中でも比較的新しいお店である「BAR BASECAMP」ですが、地元の方々をはじめとする多くの方に支えられ今年で9年目を迎えられたと話すのは店主の奥山訓史さん。35歳の時に思い立ち、滝川のバーでアルバイトをしながら経験を積み、現在とは異なる場所に小さなバーを開きました。

お店を始めた当初は、お酒を提供するにあたり様々な方から地元である砂川に対して良く言われませんでした。そのことが悔しくなり、砂川でやってやろうという気持ちが一層入りました。

また、お店に置いてあるボトルの数も百本に満たず、先輩のバーテンダーにもその少なさを揶揄されたので、10年で千本揃える目標を立てました。現在では既に八百本以上がお店に並んでおり、奥山さんの努力とお客さんに愛され続けるお店であることを物語っています。



ボトルの多くはカウンターの壁面収納に並んでおり、大工さんに頼んで作ってもらったものですが、カウンター以外の棚は奥山さんの自作です。また店内の一枚板のテーブルも板に一目惚れした奥山さんが手掛けたものです。



奥山さんはお客さんとコミュニケーションを取ることを大切にしています。バーにメニュー表はなく、カクテルの種類も300以上になるため、お客さんの好みを知るには会話をする必要があります。そこにはお客さんの予想を超える一杯を提供したいこだわりも込めています。また、お客さんから要望を伝えてもらいやすくなるよう、リラックスできる環境にするためでもあります。アンケート用紙がない代わりに、お客さんからの声が欠かせません。

BASECAMPのイチオシはフルーツを使用したカクテルやノンアルコールカクテルで、フルーツは冷凍していないフレッシュなものしか使っていません。地元食材を使用したり、地元企業のコースターやデコイフューザーを置くこともこだわりの一つです。



内装やカクテル、お客さんとの接し方まで、全てに奥山さんのこだわりが詰まったバーがBASECAMPです。そこにお客さんや様々な方からの声をもらって突き動かされてお店の在り方が変わってきました。これからもどう変わるかを楽しみながらお店と街を盛り上げていきたいと奥山さんは楽しそうに語ってくれました。

BAR BASE CAMP

〒073-10142

砂川市西2条南1丁目1の7

090(1305)7073

20時〜2時

日曜定休